



富合中学校 学校だより 第16号

令和5年6月8日(木)発行

文責 校長 林田武海

～ 笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生 ～



人権集会 6月は「いじめ根絶強化月間」 “自分を大切に 他の人も大切に～アクセルとブレーキ～”

熊本市では、6月を「いじめ根絶強化月間」と定めて、様々な取組をしたり、いじめのことや人権のこと等についてじっくり考えてもらったりして、いじめを根絶するために全部の学校で取り組んでいくこととしています。

富合中学校ではこの期間に、人権学習に取り組んだりクラスでいじめ根絶について考えたりする時間をとったりします。昨日7日(水)1限目には、全校生徒が体育館に集まり“人権集会”を実施しました。今回の人権集会の内容は校長講話です。



講話のテーマを“自分を大切に 他の人も大切に ～アクセルとブレーキ～”とし、スライドを用いながら進めました。話した主な内容は以下のとおりです。

- 講話のテーマの意味の確認 ○校訓・学校教育目標の確認
- ある中学生の作文の朗読・紹介(タイトルは「みんなのヒーロー」)

※路線バスに手押し車で乗車するおばあさんに対する乗客の冷たい反応を快く思っていなかった

「私」だったが自分も何もできていなかった。しかしある日、隣に座っていた乗客のおじさんが「手伝いますよ」と声をかける。おじさんの行動を見て「私」も他の人もおばあさんを手伝うようになり、バス内の冷たい空気が暖かい空気変わっていくという経験にもとづいた作文。

- 自分を前に動かすアクセル、自分にストップをかけるブレーキについて
- 時には他の人にブレーキをかけてあげなければならないこともあるということ
- 人権とは？人権が守られるには？
- だれもが“安心して過ごせる学校”“安心して過ごせる学級”になるには
- いじめは絶対に許されるものではないこと。
- その言葉や行動で相手はどう感じるか。(言葉の持つ重み) [↓次ページへ]

○富合中学校の良いところについて

※集会が始まる前におこなった教育実習生の退任式では、寺本実習生からも富合中学校の良いところで感じたことをたくさん伝えていただきました。

○私自身が中学校3年生の時に出場した野球の中体連大会で、最後のバッターになったときのことについて



以上のような内容でしたが、どの学年の生徒も最後までしっかり話を聞いてくれました。話をしながら前から様子を見てみると、顔がしっかり上がり、時にはうなずいてくれる生徒もあり、とてもありがたいなあ

と思わせてくれました。講話の後は教室にもどり、担任の先生の話を受けて感想を記入してもらっています。だれもが持ち合わせている“アクセル”と“ブレーキ”を、自分を大切にするために、他の人も大切にするために、踏み分けてほしいと思います。

もうすぐ水泳の授業が始まります

梅雨に入り雨の日が続きますが、毎年この時期には体育の授業で水泳が始まります。今週に入りプール掃除がありました。先日は3年生がプールの中、プールサイドなど、デッキブラシやたわしを使って一生懸命掃除に励んでくれました。小刻みに手を動かしながらも笑顔を見せ、楽しみながらしてくれているところが生き生きと輝いて見えました。水泳の授業が安全な環境の中、無事におこなわれるのを願います。

